

第15回 神戸女学院大学 絵本翻訳コンクール 奨励賞

鹿児島育英館高等学校 2年 栗脇 綺菜 訳

アーノルドのしま

アーノルドは ふなのりのゾウさんずーっと うみを たびして
だって うみは ともだちですのもの！ けどあるひ ごきげんななめな うみさんは アーノ
ルドの 船を こわしちゃった
でも だいじょうぶ！ アーノルドは ながーい はなで いきができます
ぷうか ぷか ぷうか ぷかやがて アーノルドは ちいさなしまに であいました
アーノルドは、ずっと まえにいた ふなのりが いったことばを おもいだしました
「ずっと ひとりいつも ひとりきょうも あしたも そのつぎも ずーと、、、 ひろい ひろい
うみのまんなかで ひとりっきり！」
なんとアーノルドは トランペットを もっています！ 「なんという うた なんだい？」 さかな
さんが たずねました
「たすけてー！ って いってるの」 アーノルドは こたえます 「だれかが きてくれると いいん
だけど」 しかし いつまで たっても アーノルドは ひとりきり
しまを たんけん していると、アーノルドの ぼうしが ゆらゆらながれてきました
ぼうしを あたまに ちょこんと おいて ふと とおくを みてみると、、、 あっ！ みて！ ちいさ
な ふねが みえます
ちいさなふねには ねずみさんが のっていました
やっ と たすけが きた！
ねずみさんのふねは ポロポロでも アーノルドは じぶんに できることを せい いっぱい がん
ばりました
アーノルドは ふなのりなので ひもを むすぶのが おじょうず！
こんどは いぬのおじいさんが ふねにのって やって きました
よいしょ！ アーノルドは そっと ふねに のりました
バキッ！ あらら また ふねを こわしちゃった、、、
でも みんなのおかげで ちいさなしまを すこーしだけ おおきく できました
つぎのひのあさ さかなを たくさん つた わにさんたちのふねが やって きました
ガッシャン！ またまた アーノルドは ふねを こわして しまいます
みんな だいじょうぶ？
アーノルドは わにさんのふねを みつけました これは なにかに つかえそう
そのよるに みんなで ダンスを おどりました キラキラ ひかる おつきさまは やさしく みんな
を みています
みんなで くじらさんが おしえてくれた ひみつのうたを うたいました
おや？ どうやら ほかの どうぶつたちも いっしょに うたいたいみたいです
みんな すぐに ふねを だして アーノルドのしまに いきたいんだって！
アーノルドは みんなに わらいかけました 「このしまは みーんな はいっちゃんくらい おお
きいの」
でも ある日 そらは くらーく かぜは びゅうびゅう うみさんまで なんだか おこっているみた
い、、、
みんな アーノルドを みつめています

もしかして おうちに かえるじかん？

「いえいえ とんでもない」アーノルドはいいました「もっと いいこと かんがえた！」